



JPI催しのご案内

**2025
8**

公益社団法人日本包装技術協会

— 2025年度の本催しについて —

2025年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。

●開催要領

日時 ①令和7年8月4日(月) 14:00～15:30 / ②令和7年8月7日(木) 10:00～11:30
③令和7年8月20日(水) 14:00～16:00

参加費 JPI法人・個人会員：無料／一般：11,000円(1部会、税込) **定員** 300名

①令和7年8月4日(月) 14:00～15:30**JPI本部主催****【テーマ】EUの包装及び包装廃棄物規則(PPWR)と今後の日本の対応**

気候変動や資源枯渇、経済安全保障等の課題に対応するため、サーキュラーエコノミーの実現が世界各国で求められており、EUを中心に法制度の整備が進められています。例えば、包装廃棄物の削減を目的として「包装及び包装廃棄物規則(PPWR)」が2022年11月に提案、2025年2月に発効し、今後EUへ輸出される包装製品に対しても規制の網がかかることから、日本企業に対する影響も懸念されています。

本講演では、はじめにEUにおける資源循環・サーキュラーエコノミー政策を概観し、続いて「包装及び包装廃棄物規則(PPWR)」に焦点を当てて本規則で規定されている具体的な要件や、現状の議論状況についてご紹介します。最後に、これらの動向が日本企業に与える影響についての考察を述べさせていただきます。

【講師】みずほサーチ&テクノロジーズ株式会社 サステナビリティコンサルティング第2部 シニアコンサルタント 佐野翔平氏
サステナビリティコンサルティング第2部 シニアコンサルタント 中村彩乃氏

②令和7年8月7日(木) 10:00～11:30**JPI本部主催****【テーマ】パレット標準化推進における現状と課題****～パレット段積み用資材「Eスリーブの開発」～**

近年、物流業界では人手不足・輸送力不足による配送遅延や物流コスト増加が懸念され、荷役作業の迅速化と作業負担の軽減による効率化が急務となっています。

有効な手段の一つが、フォークリフトを活用した荷役の省力化であり、その基盤となるのがパレットの活用・標準化です。パレット標準化に関する最終取りまとめが公表され、政府も補助金等を通じて普及を後押ししています。

一方で、パレット化による積載効率や作業効率の低下、パレット直段積みによる荷の損傷などの課題も残されています。

本講演では、これらの課題を解決するアタッチメントを活用し、標準パレット運用の円滑化を図る方法についてご紹介します。

【講師】親和パッケージ株式会社 開発営業チーム 遠藤紗奈子氏

③令和7年8月20日(水) 14:00～16:00**JPI関西支部主催****【テーマ】発泡スチロールに関する海外法規制の動向**

ビーズ法発泡スチロール(略称EPS)に関する指摘(誤解)と実際のところの解説、及び世界でのビーズ法発泡スチロールに関わる規制の実際について説明する。

【講師】発泡スチロール協会 人材開発部部长 藤原裕士氏

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

公益社団法人日本包装技術協会 担当：坂本

TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970

●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。

URL <https://www.jpi.or.jp/>

申込要領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会（ウェビナー）です。
お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できません**のでご注意ください。
- ・招待メールにて **参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ※**ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、ご注意下さい。**
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

第63回

全日本包装技術 研究大会

発表者募集
仙台大会

- 開催日：2025年12月18日（木）～19日（金）
- 会場：仙台国際センター
- 主催：公益社団法人日本包装技術協会

関係省庁団体に後援申請予定

ご案内

公益社団法人日本包装技術協会では毎年1回、全国の会員を対象に包装技術の研究と交流を目的とした全日本包装技術研究大会を開催し関係各位より高い評価を頂いております。
本大会は今年で63回目を迎え、会場を仙台市の仙台国際センターに移し開催する予定です。
つきましては、包装に係わる様々な業種の皆様の発表の場として開催する本大会に貴社におかれましても、この機会を有効にご利用頂きたく、奮ってご発表くださいますようお願い申し上げます。

募集要領

- 【発表申込期間】 2025年8月15日（金）まで
- 【発表募集件数】 51件 ※最少催行件数45件／定員になり次第締め切り
- 【発表料】 無料
- 【申し込み方法】 当会ホームページより申込フォームをダウンロードして、e-mail (satou@jpi.or.jp) にお送りください。
※発表お申込み受領後に発表要旨原稿(A4用紙4枚程度)の執筆依頼をさせていただきます

発表要領

- 【発表部会】 発表内容により下記いずれかの部会で発表頂きます。
①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会 ⑤医薬品・医療機器包装部会 ⑥化粧品包装部会
⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会 ⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会
※発表部会はご希望にそえない場合があります。また事務局により発表頂く部会を変更させて頂く場合があります。
- 【発表内容】 **自社のカタログを解説するような製品・サービスの紹介はご遠慮ください。**
○包装又は包装資材に関する研究 ○新技術・新システム・新素材の開発 ○廃棄・リサイクルの容易性について
○包装の現場における改善・合理化の事例 ○省力・省人・省資源・コスト低減等の事例 ○設計・評価（試験）に関する方法や基準 など
- 【発表時間】 一件あたり25分間（20分発表、5分質疑応答）
- 【発表方法】 Microsoft PowerPoint などのプレゼンテーション用ソフトとPCを利用して1名で発表頂きます。
※PCは各自持参／操作も含め1名で発表頂きます
- 【表彰】 発表者の中から、特に充実した発表をされた方を対象に優秀発表者を選出します。
- 【評価ポイント】 ①発表内容のレベル（新規性、獨創性、難度、工夫・応用具合など） ②発表内容の構成（例：背景・問題提起→解釈・分析・評価→提言）
③プレゼンテーション能力（論理的な説明、説得力、時間管理など）

お申込みご予定の皆様へ

- 感染症の流行によりマスクの着用や手指消毒など感染予防にご協力頂く場合があります。
- 感染症や天災等の発生、国や地方自治体による行動制限の発令、最少催行人数に達しないなど、それらが理由で急遽中止に可能性があります。
- 発表募集締切後（2025年8月15日以降）は、発表者のご都合による辞退はお断りいたします。必ず代理の方を立ててください。なお状況によってはオンラインで発表頂く場合があります。
- お申し込みから発表までの流れは以下の通りです。
【発表申込受付】（8月中旬まで）→【原稿集用の原稿作成】（10月下旬まで）→【発表用データの作成】（当日まで）→【ご発表】（12月18日or19日）
その他詳細につきましては予稿集用原稿作成依頼時にご案内致します。
- 聴講用パンフレット（11月上旬完成予定）をご希望の方は下記事務局までご連絡ください。

資料請求・
お問い合わせ先



公益社団法人日本包装技術協会

全日本包装技術研究大会係 担当：佐藤

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F TEL 03(3543)1189 FAX 03(3543)8970 E-mail: satou@jpi.or.jp